

小学校第1学年 学級活動指導案

平成30年11月27日 第5校時

小学校 第1学年 12名

指導者 T1 1年担任

T2 栄養教諭

1 題材 よくかんで たべよう

活動内容(2)エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材設定の理由

食べ物をよくかむことは食べすぎを防ぎ、消化吸収を助け、虫歯や歯周病の予防に役立つなど、体によい働きがある。また、この時期によくかむ習慣をつけることは、あごの発達や永久歯列の好ましい状態を作るために重要である。

本学級は学級目標を「おはなしうんうん にっこりはい きゅうしょくパクパク ころつながる一年生」と決めて、4月から頑張って給食を食べる姿が見られる。また、残食もほとんどなく、多くの児童が時間内に給食を完食できる。一方で給食にも慣れ、早く食べようとする児童の姿も見られることから、この時期によくかむことについて学習してはどうかと考えた。

そこで本時の学習では、2種類の食べ物の写真から「かむ」ことを意識させ、課題への関心をもたせる。また、実際にするめをかんでみて気付いたことや感じたことを発表し合う。自分たちの意見をもとによくかんで食べることの大切さについて確認し、よくかんで食べようとする意欲をもたせたい。

3 題材の目標

よくかんで食べることの大切さに気付き、よくかんで食べるための方法を考え実践することができる。

4 題材の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
かむことに関心をもち、よくかんで食べようとしている。	よくかんで食べるためにはどうすればよいか考え、実践している。	よくかんで食べることが、体の健康を保つために大切なことを理解している。

5 食育の視点

よくかんで食べることの効果を知り、よくかんで食べることが健康を保つために大切なことが分かる。(心身の健康)

6 指導計画

事前	1	どれくらい噛んでいるか確認する(給食時)
本時	1	『よくかんで たべよう』
事後	1	給食時の指導 チャレンジカード

7 本時

(1) 目標

よくかむことの効果を知り，よくかんで食べるための方法を考えることができる。

(2) 展開

時間	主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
つかむ 8分	1 本時の学習内容を知る。	○ 給食の時間どれくらいかんでいたか確認させる。(T1) ○ 2種類の食べ物の写真を提示し、違いを自由に発表させる。(T1)	かむことの大切さを理解している。 (行動観察) よくかんで食べるために、自分にできることを考えている。 (行動観察)
	よくかんで たべよう		
さぐる 20分	2 実際にするめを食べて、口の中やあごの様子を調べ、発表する。	○ 手をきれいに洗っておかせる。(T1/T2) ○ 自分の顔をさわったり、友だちを見たりして動いている所に○をつけることや、口の中やあごがどうなるのか調べることを説明しておく。(T1)	
	3 かむことのよさについて理解する。	○ 発表で出てきた意見をもとに、かむことと健康との関わりについて気付かせる。(T2)	
見つける 7分	4 よくかむために、どうしたらよいか考える。	○ 給食や食材の写真を提示し、よくかんで食べるための工夫を紹介する。(T1/T2)	
決める 10分	5 よくかんで食べるために、自分に合う目標を考える。	○ 学習内容を振り返り、よくかんで食べようとする意欲をもたせる。(T1)	

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	・よくかんで食べることが，健康を保つために大切であることを理解している。 ・集団思考を生かし，自分に合った具体的な意思決定をしている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	・実際にするめを食べることを通して理解しやすくする。 ・よくかむための方法について，実践できそうな方法を紹介する。

8 特別活動の他の内容や他教科等との関連

学級活動の活動内容(2)「ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成」と関連させて学習し，実生活に生かせるように指導する。